



Creative Railway - みなとみらい線でつながる駅アート ～現代アートのラッピング電車を特別運行～

横浜市と横浜高速鉄道（横浜市中区、代表取締役社長 鈴木 伸哉）は、現代アートの国際展「ヨコハマトリエンナーレ 2020」の連携プログラムとして、創造界隈拠点事業「Creative Railway - みなとみらい線でつながる駅アート」を9月26日（土）から実施します。これは、横浜都心臨海部を走り、駅舎自体のデザイン性が高いみなとみらい線の各駅やその周辺において、現代アートの展示・パフォーマンスを行うもので、今回それに先駆け、8月30日（日）から、アーティストの飯川雄大氏による《デコレータークラブ - ピンクの猫の小林さん - 》を8両編成のうち、4両の車体にデザインしたラッピング電車を運行します。

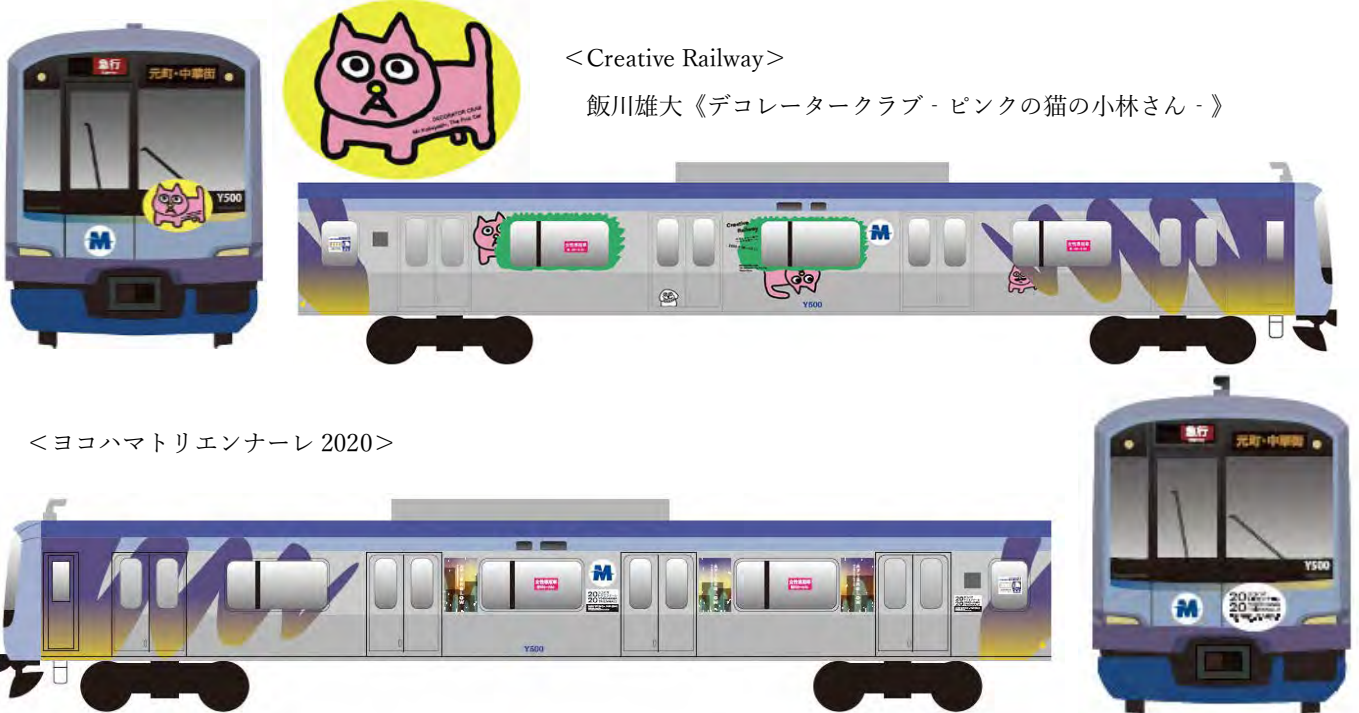
また、その他の4両には「ヨコハマトリエンナーレ 2020」のイメージビジュアルを用いています。

【概要】

運行期間：2020（令和2）年8月30日（日）～10月11日（日）予定

※運行期間は検査、運用等の都合により変更となる場合があります。

運行線区：みなとみらい線、東急東横線、東京メトロ副都心線、西武有楽町線・池袋線・狭山線、東武東上線
使用車両：横浜高速鉄道Y500系（1編成）



< Creative Railway >

飯川雄大 《デコレータークラブ - ピンクの猫の小林さん - 》

< ヨコハマトリエンナーレ 2020 >

※飯川 雄大（いいかわ たけひろ）

昨年度、「猫の小林さんとあそぼう！プロジェクト」を展開し、金沢区並木で巨大な作品《デコレータークラブ - ピンクの猫の小林さん - 》を設置。また、現在は「ヨコハマトリエンナーレ 2020」に参加しています。



飯川雄大《デコレータークラブ - ピンクの猫の小林さん - 》2020年
撮影：阪中隆文

<裏面あり>

<Creative Railway - みなとみらい線でつながる駅アート>

横浜市では創造性をいかしたまちづくりを進めるため、都心臨海部の歴史的建造物や公共空間等を活用し多彩なアート活動を展開する創造界限拠点を運営しています。当事業では、創造界限拠点がみなとみらい線各駅で現代アートの展示やパフォーマンスを通してアートに触れる機会を創出するとともに、横浜らしい優れた文化芸術を発信します。



期間：2020(令和2)年9月26日(土)～10月11日(日)(16日間)

会場：みなとみらい線(新高島駅～元町・中華街駅)の駅構内等

主催：横浜市、横浜高速鉄道株式会社、創造界限拠点

内容：駅構内及び周辺におけるアートの展示やパフォーマンス、ラッピング電車の運行、企画乗車券の発売など

公式WEB：<http://www.creativerailway.yokohama/>

※本事業の詳細については、9月下旬に別途記者発表します。



みなとみらい線 馬車道駅構内

<ヨコハマトリエンナーレ 2020「AFTERGLOW - 光の破片をつかまえる」>

ヨコハマトリエンナーレは、3年に一度開催される現代アートの国際展です。本展では目まぐるしく変化する世界の中で、大切な光を自ら発見してつかみ取る力と、他者を排除することなく、共生のための道を探るすべについて、みなさんと一緒に考えます。

会期：2020(令和2)年7月17日(金)～10月11日(日)

※開場日数 78日、毎週木曜日休場(10月8日を除く)

会場：横浜美術館、プロット48

アーティスティック・ディレクター：ラクス・メディア・コレクティブ
(Raqs Media Collective)

主催：横浜市、(公財)横浜市芸術文化振興財団、NHK、朝日新聞社、横浜トリエンナーレ組織委員会

公式WEB：<https://www.yokohamatriennale.jp>

Twitter：@yokotori_



ニック・ケイヴ《回転する森》2016(2020年再制作)

©Nick Cave

撮影：大塚敬太

お問合せ先

[Creative Railway について]

文化観光局 創造都市推進課担当課長 藤塚 万里子 TEL 045-671-2277

[ラッピング電車の運行について]

横浜高速鉄道株式会社 経営企画課 古性、松本、白井 TEL 045-664-0625

[ヨコハマトリエンナーレ 2020 について]

文化観光局文化プログラム推進課担当課長 梶原 敦 TEL 045-671-4310